

2021年2月28日(9週目) 主日礼拝

「ヒゼキヤの靈的戦い」(Ⅱ歴代 32:20-23)

歴代誌はエズラによって記録された。祭司的な観点で書かれている。イスラエルの民が過ちがあっても、ダビデの王国は必ず回復できる。神様の契約は変わりなく、必ず神様の目的通りとなる。歴代誌は、福音的な観点で記録された。特に、ソロモンについて記録しているが、ソロモンの神殿建築についての内容をよく記録している。それは、私達がキリストを信じる事、福音を伝達することが大切であるからである。ソロモン以降の王として、ヒゼキヤ王がいる。ヒゼキヤ王の歩みの中でどのように靈的な戦いをしたかをわかる(ヒゼキヤ王の記録:Ⅱ列王 18:~20:、Ⅱ歴代 29:— 30:、イザヤ 36:— 39:)。ヒゼキヤ王は宗教改革の主役だった。神殿をもう一度回復して、神殿を神殿らしく維持していった。

1.ただ福音と福音化	2.サタンと靈的戦い	3.完全に勝利する道
<p>▲ヒゼキヤはなぜ福音を掴み、福音化の契約を掴まなければいけないかを分かっていた。</p> <p>○ヒゼキヤの父親であるアハズ王(南ユダの王)が偶像崇拝をしたことにより、北イスラエルとアラムが南ユダに攻めてきた(12万人が死亡して20万人が捕虜となった)。ヒゼキヤが王となった時に、アハズ王の偶像崇拝を反面教師として良い信仰者となった。その信仰で神殿の偶像を取り除くようになった。</p> <p>○私達は、日本の国、家庭、個人が、偶像崇拝をしたことでどれほど滅びをしていたか分かるように。偶像崇拝からくる滅びをわかってこそ、なぜ福音が必要なのか分かる。また、なぜ福音化が必要なのか分かるようになる。⇒日本では江戸時代の仏教を通して、多くの飢饉があった。昭和時代の天皇神道政策により、戦争・敗戦の災いにあった。</p> <p>1)神殿浄化(Ⅱ歴 29:3-5) - 礼拝の回復</p> <p>(1)ヒゼキヤは父親が偶像崇拝をした事で問題が起こり続けたことを認めた。一偶像崇拝を取り除くようになった。</p> <p>(2)私達は、自分中心、欲望、自尊心の偶像を取り除き、ただキリストになる。</p> <p>2)過ぎ越しの祭り(Ⅱ歴代 30:1) - 福音・伝道の回復</p> <p>(1)過ぎ越しの祭りは、福音・救いを覚える大切な祭りである。</p> <p>(2)イスラエルの過ぎ越しの祭りが、950年~715年まで行われてなかった。</p> <p>(3)ヒゼキヤは、福音の祭りである過ぎ越しの祭りを回復した。</p> <p>- 私達は自分だけでなく周りの人も救われるような福音化の恵みを回復する</p> <p>(4)福音化の働きをする時に、本人が祝福をされるようになる。</p> <p>- 福音の回復運動により一気にイスラエルの人口が急増した。</p> <p>(5)伝道運動により日本の文化が変わるようになる(福音フェスティバル文化)</p> <p>3)偶像を打ち砕いた(Ⅱ歴 31:1) - 献金の回復</p> <p>(1)ヒゼキヤは地域の偶像を打ち壊していった。</p> <p>(2)レビ人が主の働きに専念をすることができるようにした(Ⅱ歴代 31:4)。</p> <p>- 献金を通して教職者を十分に支えることが聖徒の報いとなっていく。</p> <p>(3)しかし、お金が偶像になると献金が出来ない。</p> <p>—お金の偶像を打ち砕き、献金を回復するように⇒経済の答えを受ける。</p> <p>4)祝福(Ⅱ歴 32:23) - 経済の回復</p> <p>(1)ヒゼキヤは、神様に誠実に仕えたので全てが栄えた(Ⅱ歴代 31:21)。</p> <p>※私達の中心がただ福音とただ福音化の契約を掴むように⇒祝福となる。</p>	<p>▲私達が、福音に答えを出していくと、サタンが攻撃をしてくるようになる。</p> <p>○ヒゼキヤが朝貢をやめた時に、アッシリヤの王が怒り始める。そして、神様を冒瀆をするアッシリヤの王と軍隊が攻めてくるようになった。その時に、ヒゼキヤは、これがサタンの働きであることを分かった。そして、神殿にのぼり祈りを捧げるようになった。</p> <p>1)祈り—Ⅱ歴 32:20</p> <p>(1)ヒゼキヤとイザヤが共に靈的な戦いの祈りをした。</p> <p>—サタンとの靈的な戦いをした。</p> <p>(2)メッセージを聞くのも靈的な戦いに勝利するため。</p> <p>(3)問題が来たら牧師に連絡をして祈りをして頂く。</p> <p>—チームを組んで神様の国のために戦うように。</p> <p>2)天使—Ⅱ歴 32:21</p> <p>(1)ヒゼキヤとイザヤの祈りにより一人の御使いが遣わされ、アッシリヤの18万5000人の軍が全滅した。</p> <p>—神を冒瀆したセナケリブは倒された。</p> <p>(2)天使一人にもものすごい力が秘められている。</p> <p>—私達は天使を遣わす権威を持っている。</p> <p>3)ヒゼキヤは勝利して人々から称賛を受ける(Ⅱ歴 32:23)</p> <p>(1)ヒゼキヤは、病気で死にそうになる(Ⅱ歴 32:24)。</p> <p>—神様の前で祈って訴える。</p> <p>—寿命が15年延びるようになる。</p> <p>—太陽が逆に進む奇跡のような答えを受ける。</p> <p>(2)奇跡のような答えを受けた事も証しをする為である</p> <p>(3)しかし、ヒゼキヤは高慢になって神様のみ怒りが下る様になった(Ⅱ歴 32:25)。</p> <p>—バビロンの使者が来たときに、神様の力を宣伝するよりも、自分たちの財産を誇った(Ⅱ歴代 32:31)。</p> <p>—ヒゼキヤは高慢を悔い改めをするようになった。</p> <p>—ヒゼキヤが生きている間は守られるが、子孫達がバビロンの捕囚となる。</p> <p>※教会・牧師と共に靈的な戦いをする時に勝利をする。 ※答えを受けても福音のみを誇り、福音のみを伝達する</p>	<p>▲私達が、完全に勝利をする道がキリストである。高慢にさせるサタンの力をうち砕いた。</p> <p>1)キリスト</p> <p>(1)ヒゼキヤのような素晴らしい王でも、人間は高慢になって失敗をする。</p> <p>(2)だからこそ、神様は、私達のためにキリストを送って下さった。</p> <p>(3)福音の御言葉を刻印するべき。</p> <p>2)私達の方では高慢を与えるサタンに勝利することが難しいので、キリストが私達の内におられる(ヨハネ 14:20、ヨハネ 15:5)。</p> <p>(1)キリストに繋がってさえすればよい。</p> <p>(2)この事実を信じないこと自体が傲慢。</p> <p>—自分の力で悪魔と戦おうとしているから。</p> <p>3)私はキリストと共に十字架につけられた(ガラ 2:20)</p> <p>(1)ダビデ、ヒゼキヤ王も高慢で失敗をした。</p> <p>—高慢を与えるサタンに負けてしまった。</p> <p>(2)自分の力でサタンと戦う事をやめる。</p> <p>(3)自分のプライドも捨てるように。</p> <p>—私はキリストと共に十字架につけられた。</p> <p>(4)ただキリストだけが生きるように。</p> <p>(5)キリストに集中をする時に問題は終わる</p> <p>(6)キリストの人格に変えられていく。</p> <p>4)私の内に聖霊が共におられる(使 1:8)。</p> <p>▲結論</p> <p>(1)ただ福音とただ福音化の契約を掴む。</p> <p>(2)私達は牧会者と共に靈的な戦いをする。</p> <p>—福音のみを誇り、福音のみを伝達する。</p> <p>(3)私はキリストと共に十字架につけられた。</p> <p>—キリストが私の内に生かされていく。</p>

現場地教会(2021年2月28日～2021年3月6日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「ヒゼキヤの霊的戦い」(Ⅱ歴代 32:20-23)

【讚美】 494 我が魂、罪に迷えど

【祈り】

①教会の祈りの課題

1. 全聖徒が御座の祝福を味わう霊的見張り人となり、福音と祈りでミッションを掴み、日本と237に働く暗闇と霊的戦いができますように。
 2. 全聖徒が霊的医者となり、霊的な病で死んでいく日本と237を、御言葉と祈りで癒すことができますように。
 3. 全聖徒がキリストの霊的サミット大使となり、日本と237のサミットを原色福音で生かして育て、キリストの福音を伝えることによって、日本をキリスト教国家にできますように。
※御国イザヤ牧師に聖霊充満と5つの力が与えられるように。
- ②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

福音宣教教会 祈り題

1. 福音宣教教会(ローマ 16:20、25-27)
2. 主任牧師(使徒 6:4、アモ 3:7、創世記 18:17)
3. レムナント(イザヤ 6:13)
4. 癒し(使徒 19:8-20)
5. 日本神学校、東日本神学校(Ⅱ列 6:8-23)
6. 200 都市(創世記 41:36-38)
7. 1000 大学(使徒 19:9-10)
8. 日本総会教会(使徒 6:4、コロ 4:2-3)
9. 日本 8000 教会(使徒 17:1-3)
10. 本部、柳牧師(138、14、24、25、00、237)
11. 日本をキリスト教国家とする(使徒 18:9-10)
12. 237 宣教、太平洋・インド洋宣教(マタ 24:14、使徒 1:8)

契約の祈り (主日礼拝)

1. 創3,6,11章を捨ててただキリストになり、福音を知らせるキリスト文化を広めて献身する福音化の決断をするとき、神様の豊かな祝福があることを信じます。
2. サタンはただ福音の決断をするときに攻撃しますが、霊的な目で霊的戦いであることを認識し、信仰が揺れることなく、神様がくださる根本的な祝福を味わいますように。
3. 答えられても傲慢になることなく、自分の考えを下ろして、サタンを踏み砕いて私のためにへりくだったキリストと一つになったことを集中して祈ることで、サタンに完全に勝利するキリストの似姿になりますように。

お知らせ

1. 3/30(火)10:00~21:00 日本リーダー修練会(オンライン開催)
参加費:2,000円、参加対象:中学3年生以上
3/31(水)13:00-4/1(木)17:00 日本レムナント大会(オンライン開催)
参加費:3,000円、参加対象:5歳以上
※申込期限:2月28日、申込担当者:鈴木文牧師
2. 2月28日10:00~暗唱聖句大会
3. 3月21日 聖餐式
4. 4月4日 イースター礼拝、洗礼式

福音宣教教会

主管牧師:御国イザヤ

名古屋市中区栄5丁目23-8 / tel:052-238-6003

主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00